

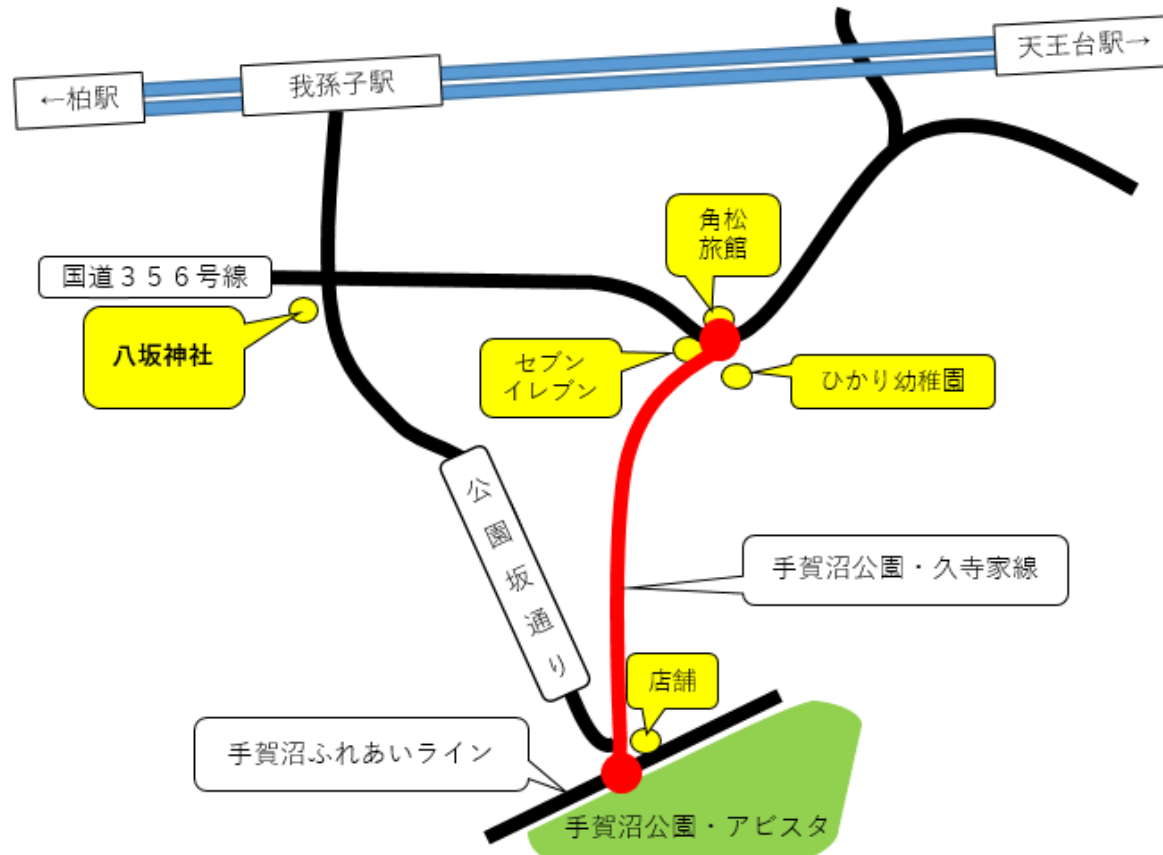
# 公園坂通りの将来的な無電柱化と 将来整備までの暫定的な対策について

1. 整備概要
2. 暫定的な対策について
3. 無電柱化について
4. 最後に



# 1. 整備概要

令和4年4月に「手賀沼公園・久寺家線」が開通し、車両交通量の減った「公園坂通り」は、今後『歩きたくなるみち』をコンセプトとした市のシンボルロードとして整備していく予定です。



この整備内容を定めるため、同じく令和4年4月から「公園坂通り周辺地区まちづくり懇談会」を開始しました。



懇談会はこれまでに5回開催しているうなあ



まちづくり懇談会のHPはこちらから

(市のHPの「公園坂通り周辺地区のまちづくりについて」を参照下さい。)

ただし、道路整備内容を定めるには、懇談会の参加者だけではなく、沿道にお住いの皆様や交通管理者である警察との合意形成も必要となることから、長い期間が掛かります。

特に「無電柱化」を実施する場合は、掛かる期間が大幅に伸びることになるうなあ。



公園坂通りには幅が狭く、片側にしか歩道がない区間もあります。将来的な整備までには、時間を要することから、市では暫定的な安全対策を行うことを予定しています。その対策内容として、片側にしか歩道のない区間へ歩行者通行空間を確保するため、警察と協議を行いました。

公園坂通りは、我孫子駅側から手賀沼公園側を見ると、我孫子駅入口交差点から西周うなぎさん付近にかけて、右側に歩道がないなあ

暫定的な対策は、懇談会の意見交換の中で、参加者の方々からご要望いただいたんだなあ



## 2. 暫定的な対策について

警察との協議を踏まえた  
暫定的な対策案について  
ご説明するうなあ



センターラインのある車道は最低でも5.5mの幅が必要となり、片側に歩道のない区間へ歩行者通行空間を確保するためには、**車道のセンターラインを消去し、車道の幅を狭める必要があります。**

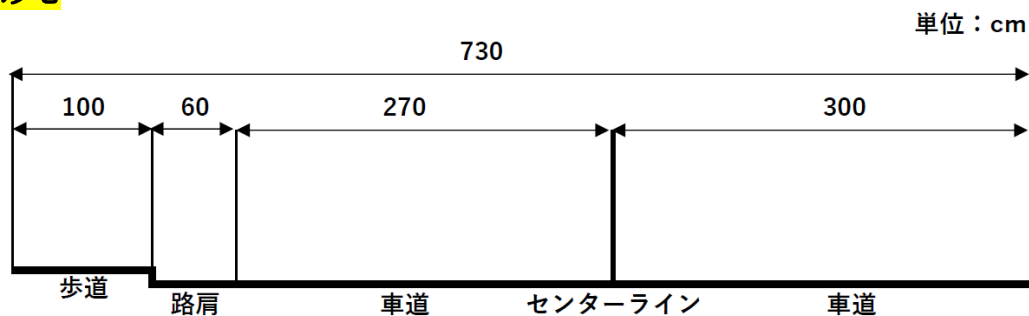
車道の幅を狭めることで、**歩行者の通行空間が確保できる反面、車両の通行は不便になります。**

ただし、公園坂通りは『歩きたくなる道』をコンセプトとした市のシンボルロードとして整備していく予定のため、沿道にお住いの方や沿道店舗にご用の方以外の車両交通量を極力減らしたいと考えていますので、この考え方には沿った対策となります。

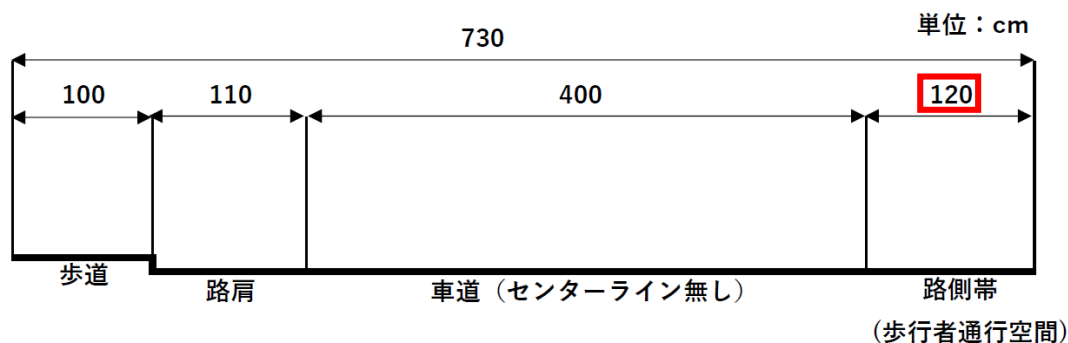


車道のセンターラインを消し、車道の幅を4mまで狭めることで、現況、歩道が無い側にも1m以上の歩行者通行空間が確保できます。

## 現況



## 暫定対策案

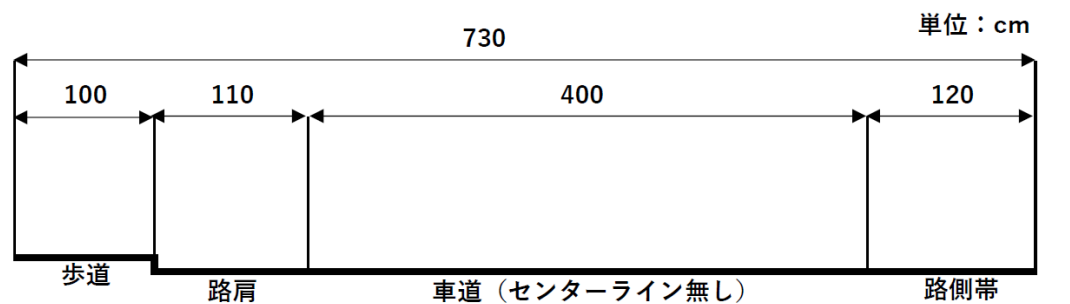


※左の図は、我孫子駅側から手賀沼公園側を見た場合の、右側に歩道がない区間（第一生命ビル付近）の道路状況です。



ただし、この対策は将来的な整備までの暫定的な対策であることから、あくまでも白線にて車道と歩行者通行空間を区分する物であり、道路反対側の歩道のように、段差を設けて物理的に分離するものではありません。また、道路反対側の歩道の段差も現況のままとなり、路肩が広がる形となります。

## 暫定対策案



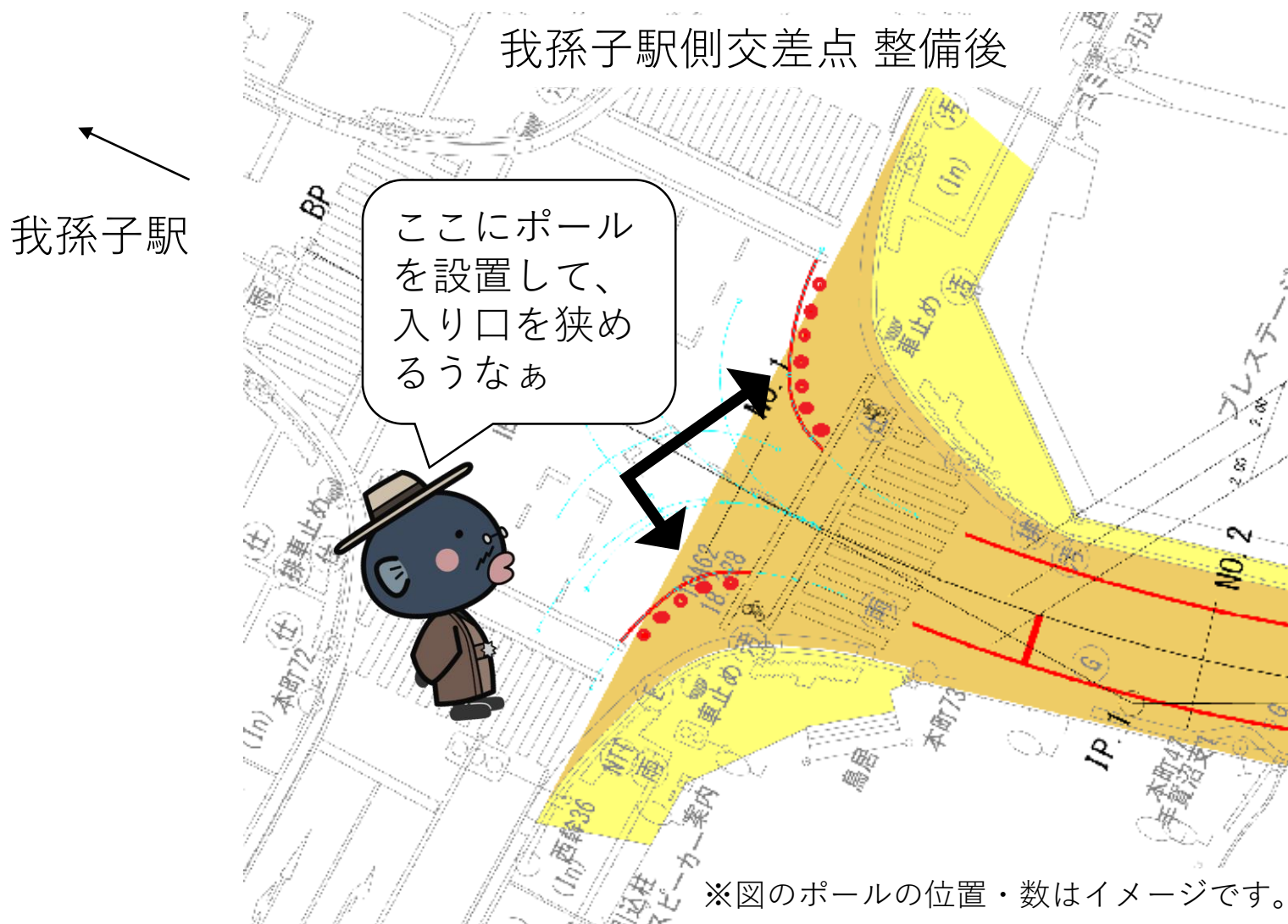
(歩行者通行空間)



ここに段差はつかないけど、色を塗る予定うなあ

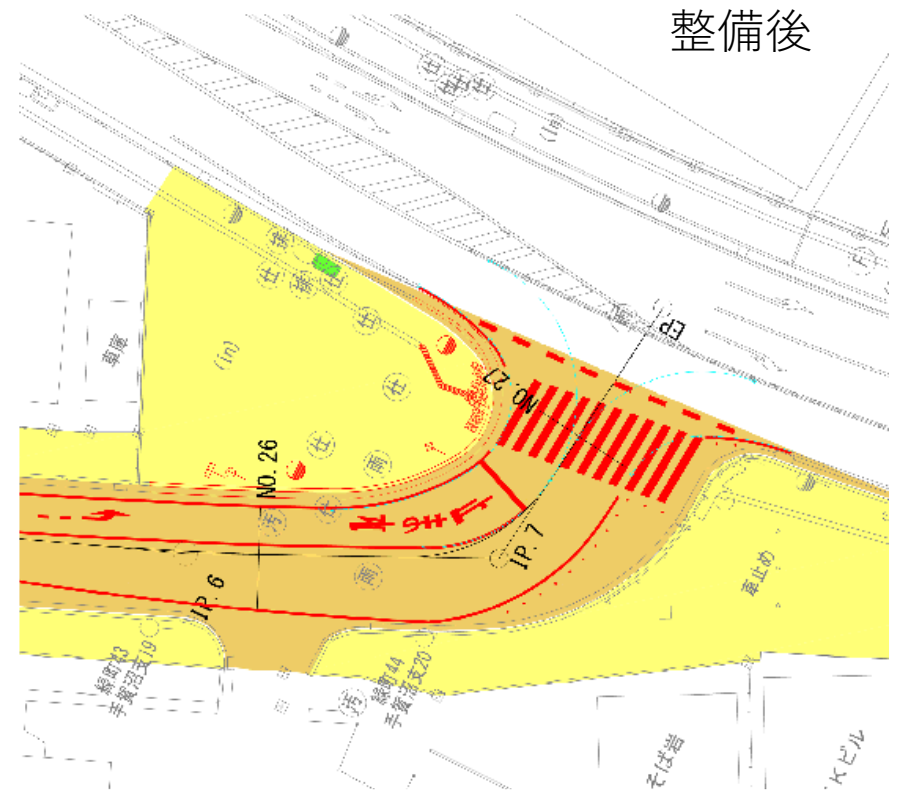
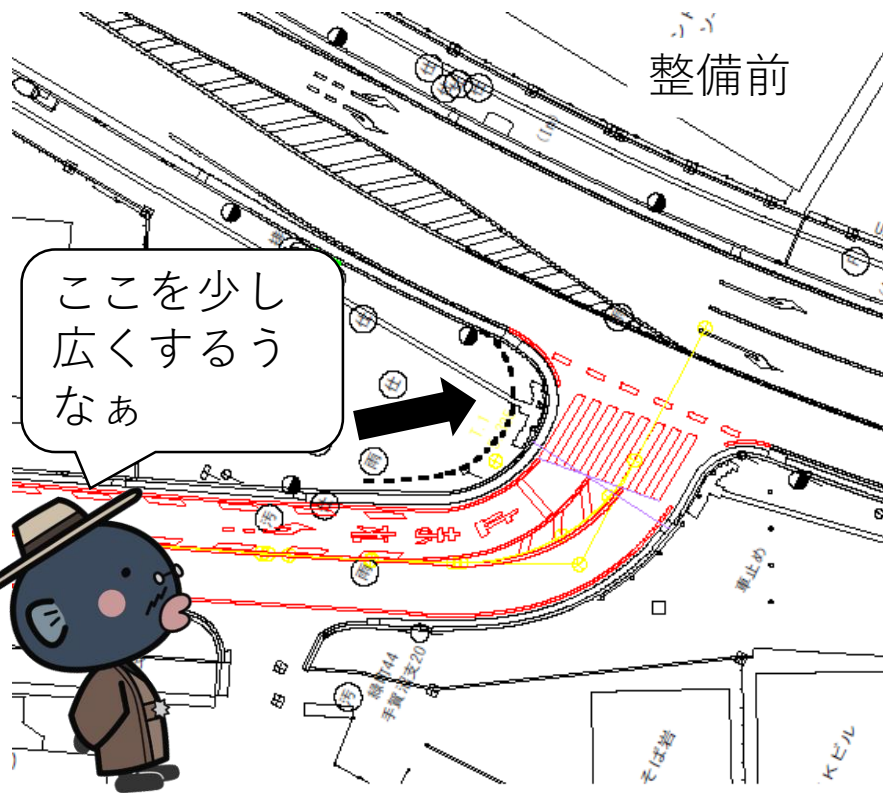
※左の図は、我孫子駅側から手賀沼公園側を見た場合の、右側に歩道がない区間（第一生命ビル付近）の道路状況です。

車道のセンターラインを消去し、車道の幅を狭める  
対策の他に、**交差点の形状をポールで狭める**ことで、  
進入車両の抑制を図る対策も行います。



我孫子駅側の交差点のみではなく、手賀沼公園側交差点についても、公園坂から左折流出する車がスムーズに曲がれるよう車道の一部拡幅する対策を行います。

### 手賀沼公園側交差点



この暫定的な対策について、今回皆様をお願いするアンケートにおいて概ねの了解をいただけましたら、令和6年3月末の工事完了を目指し、令和6年早々からの工事着手を予定します。



整備前



暫定整備後のイメージ

# 3. 無電柱化について

- 無電柱化事業の概要
- 公園坂通りにおける無電柱化
- 無電柱化の整備課題
- 事業スケジュール



## • 無電柱化事業の概要

○無電柱化とは  
電線や通信線などをまとめて地下に埋設したり、表通りから見えないように裏通りに配線したりして対象の道路から電柱をなくす事業のことです。

【整備前】



【整備後】



千葉県内の無電柱化事業の事例（成田市中町）

## • 無電柱化事業の概要

○無電柱化を行うと『道路の防災性を向上』することができます。

### 道路の防災性向上



電柱崩壊による通行の妨げ



電線による救助活動の妨げ

## • 無電柱化事業の概要

○無電柱化を行うと『通行空間の安全性』を確保することができます。

### 通行空間の安全性の確保



電柱による歩行通行の妨げ



歩道内の歩行空間を確保



## • 無電柱化事業の概要

○無電柱化を行うと『良好な景観を形成』することができます。

### 良好な景観形成



電柱・電線の撤去による眺望確保

## ・無電柱化事業の概要

○近年、台風を原因とした電柱倒壊被害が多発しており、無電柱化の必要性が高まっています。

また地震発生時には、電柱倒壊による救助活動の遅れが懸念されています。

### 【自然災害における電柱の倒壊本数】

年	災害名	倒壊電柱(本)
2019年	台風15号	約1,996
2018年	台風21号	約1,630
2011年	東日本大震災	約28,000
1995年	阪神淡路大震災	約4,500



写真：千葉県館山市

## ・無電柱化事業の概要

○通学路や狭い道路において、電柱と車の間に挟まれる事故も発生しています。



写真：朝日新聞（新宿区）



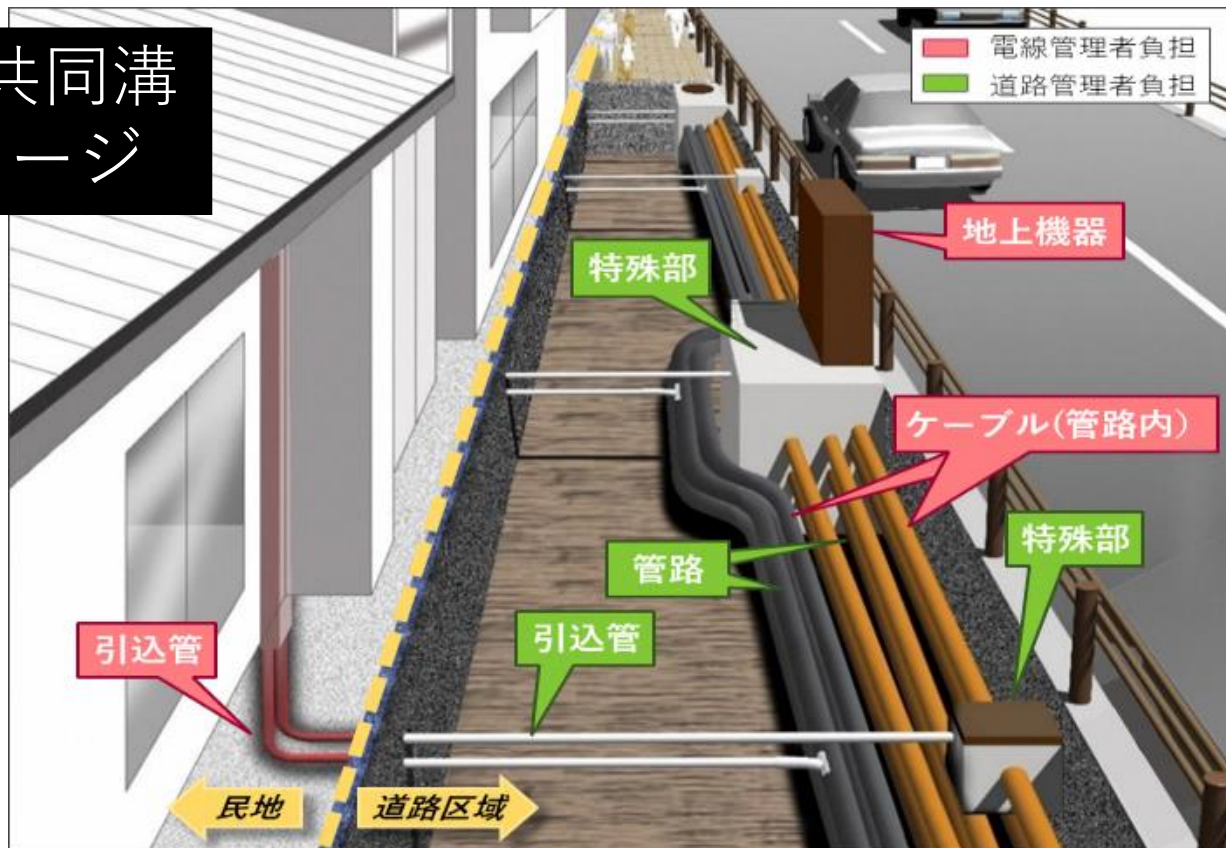
# 無電柱化事業の概要

○無電柱化の整備手法

## 【電線共同溝方式】

近年、最も採用されている整備方式で、無電柱化整備における基本方式とされており、管理は道路管理者（市）が行います。

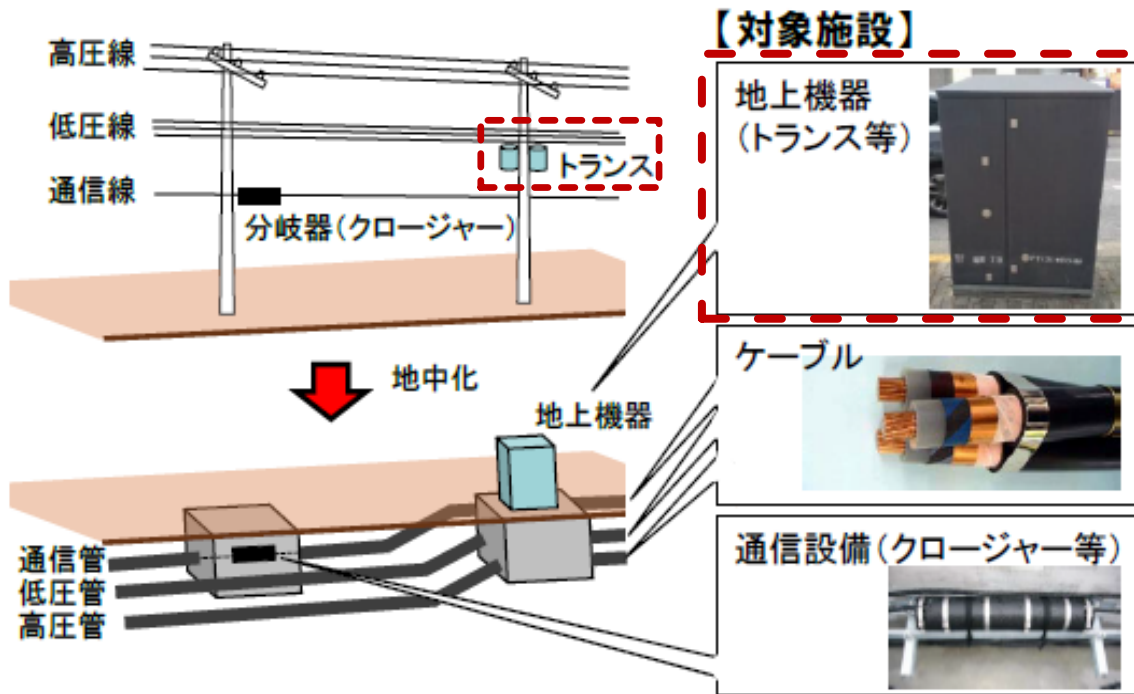
### 電線共同溝 イメージ



# 無電柱化事業の概要

○地上機器とは

高圧線で運ばれてきた電気を家庭用の低圧に変換する機器で、無電柱化すると数十メートルごとに設置が必要になります。



出典：国土交通省HP

## ・公園坂通りにおける無電柱化

『歩きたくなるみち』がコンセプトのシンボルロードとしての整備に向けて

○公園坂通りを無電柱化を実施することで

『道路の防災性向上』

『通行空間の安全性の確保』

『良好な景観形成』

を図ることができます。



《電柱・電線が無く、連続した歩道のある道路空間イメージ》

# ・公園坂通りにおける無電柱化

○無電柱化整備イメージ

【 現 状 】



【 無電柱化後 】

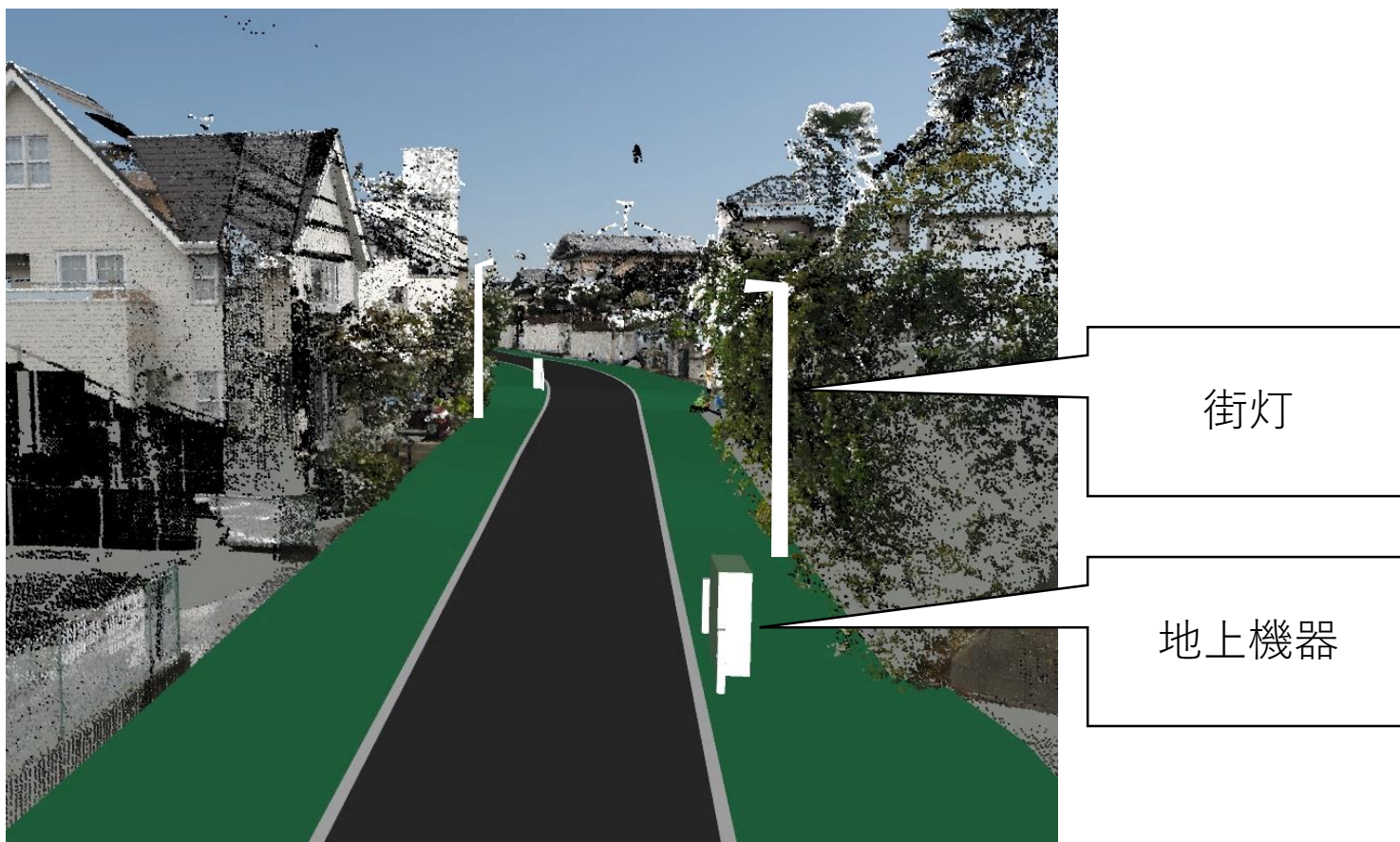


※カラーの資料は、第5回街づくり懇談会配布資料を参照下さい。  
街づくり懇談会のHPへのリンクは本資料2ページ目にあります。

## • 無電柱化の整備課題

### ○無電柱化を実施しても地上機器等が設置される

無電柱化により電柱は撤去されても、新たに地上機器を設置する必要があります。また、公園坂通りの照明は電柱に設置されているため、別途街灯も設置する必要があります。





## ・無電柱化の整備課題

### ○民地内への地上機器の設置

公園坂通りのうち、主に我孫子駅側の道路幅が狭い区間については、地上機器を道路に設置すると、十分な幅員が確保出来なくなります。そのため、民地内に地上機器を設置する必要があり、その際には、土地所有者様の理解と承認が必要となります。



《民地内に地上機器が設置された整備事例》

# ・無電柱化の整備課題

○長期間にわたる工事協力

公園坂通りで無電柱化を実施する場合、**工事期間だけで8年が掛かる**と見込まれています。

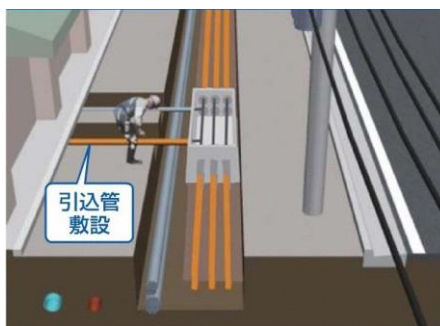
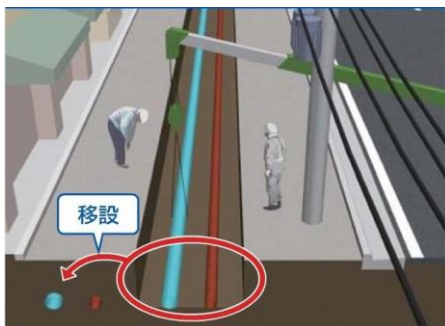
## 電線共同溝方式による無電柱化事業の流れ【約8年】

移設工事【2年】

本体工事【2.5年】

引込工事【1.5年】

抜柱・舗装復旧【2年】



出典：東京都HP

試掘調査や、今埋まっているガス・水道管などの移設、電線等を通す管の設置、そこから皆様のお宅・店舗への電力の引き込み、電柱の撤去など、**皆様のお宅や店舗の前を何度も掘り返す工事となります。施工に際しても、交通規制(通行止め等)や夜間工事が必要となる可能性があるため、多大なご迷惑をお掛けすることとなります。**

## ・無電柱化の整備課題

### ○民地内での引込工事

前のページでも触れましたが、無電柱化をすると、地下から皆様のお宅・店舗へ電力を供給するため、皆様のお宅・店舗敷地内での電力引込工事が必要となります。そのため、土地所有者様の理解と承認が必要になります。

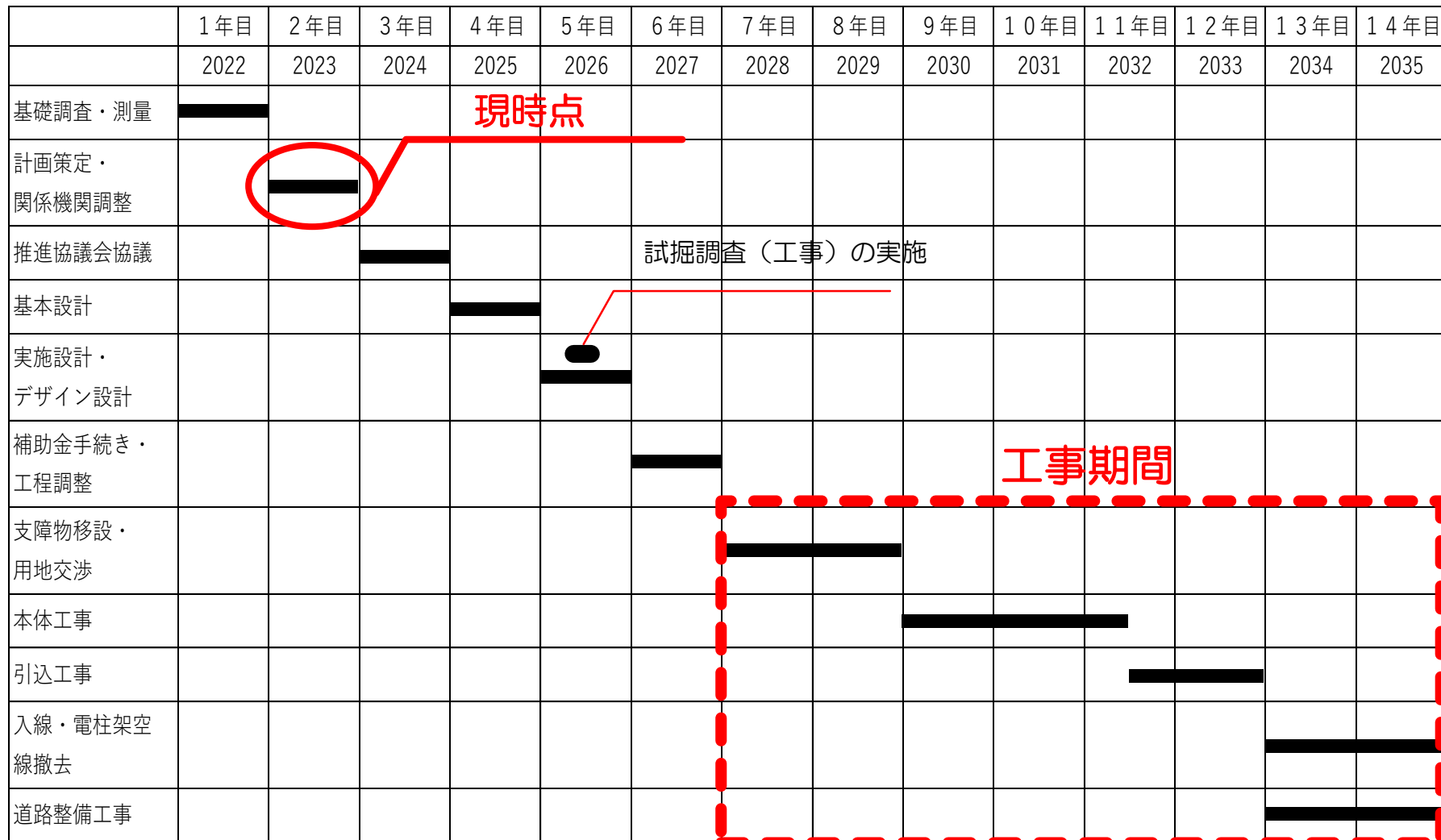
※無電柱化整備に伴う、引込工事の費用負担はありません

《民地内での引込管整備イメージ》



# ● 事業スケジュール

## 《公園坂通りで無電柱化を実施する場合の想定スケジュール》



# ・事業スケジュール

《公園坂通りで無電柱化を実施しない場合の想定スケジュール》

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
基礎調査・測量	■						
関係機関調整		■					
基本設計			■				
実施設計・ デザイン設計				■			
支障物移設					■	■	■
道路整備工事						■	■

現時点

工事期間

以上のとおり、公園坂通りで無電柱化を行うことで、道路の防災性・通行空間の安全性を確保することが出来ます。また、電柱・電線が無くなり、上空がスッキリとして手賀沼を望む景観の向上が図られます。

半面、電柱が無くなっても地上機器や街灯を新たに設置する必要があるため、地上部分の構造物は残ることや、長期に渡って何度もご自宅や店舗の前を工事する必要があり、土地の譲渡もお願いする可能性があるなど、完了までに沿道にお住いの皆様には多くのご迷惑をお掛けすることとなります。

今回皆様から頂戴するご意見をもとに、無電柱化の実施について決定したいと考えていますので、アンケートへのご協力をお願いします。

# 4. 最後に

今回皆様にアンケートでご意見をお伺いするのは、

- 暫定的な対策の内容について
- 将来的な整備の中で無電柱化を実施すべきか

となります。

将来的な整備の内容〔歩道の構造（フラット化等）や車両の通行形態（相互通行又は一方通行）、安全対策〕については、今後、沿道にお住いの皆様や公園坂通り周辺地区まちづくり懇談会において、皆様にご意見を伺いながら検討していきますので、引き続きご協力をお願いします。

